

自分が選んだ SDGsの項目(番号と内容)

12 番 『 つくる責任 つかう責任 』

Q どうしてその項目を選んだのか

以前、人間が生産・消費・廃棄活動を通して、地球の資源を使いすぎている、というニュースを見た。そこで、今の資源消費のペースでは地球上にある資源では足りなくなると知ったため、この項目を選んだ。

代表的な資源といえば「(火力発電による)電力」だが、仮に今のペースのまま消費していくと、石炭の埋蔵量は残り139年、石油は 54年、天然ガスは49年分しかないそうだ。

また、世界では、まだ食べられる食材が年間 13 億 t 廃棄されている。これは世界の食品生産量の約 3 分の 1 を占める数字である。食品ロスは発展途上国と先進国の格差を大きくしてしまうほか、生産だけでなく廃棄にも無駄なエネルギーを消費してしまうことも問題をより深刻にしている。

現状、今行われている解決策

サーキュラーエコノミー(循環型経済)の考え方が生まれている。これまでの「作ったら『使う』か『捨てる』で終わり」という一方通行的な考えではなく、「廃棄物と汚染をそもそも生み出さない」「製品や素材を高い価値のまま循環させる」「自然を再生する」ことを目指す。

【世界で行われていること】

・「食品廃棄禁止法」の制定(フランス)

大型スーパーマーケットを対象に、まだ消費できる食品の廃棄を禁止し、店頭で余った食品を慈善団体に寄付することを求めた。

・リサイクル素材から作られる LEGO ブロック(デンマーク)

ごみの排出量を削減するため、ペットボトルを資源として商品を製造している。更に、商品の梱包をプラスチックから紙にすることでプラスチックの使用量、消費量を削減している。

【日本で行われていること】

・サステナブル・ツーリズムの導入

観光地域の混雑の緩和や近隣住民への配慮、観光客のマナー向上を目指すもの。

・「てまえどり」の意識

スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで、棚の手前の販売期限が近い商品から取ることで、販売期間切れによる食品廃棄を減らすこと。

・「RE.UNIQLO」(ユニクロ)

消費者が購入し着なくなった服を回収し、新しい商品として販売している。一部の商品は難民へ衣料を支援したり、二酸化炭素排出量の削減に役立つ代替燃料として活用したりしている。

自分たちができること、調べてみてわかったこと

今回の学習を通し、自分は3R を徹底しようと思った。いらなくなったものをゴミとして捨てるのではなく、フリーマーケットに出品したり、リメイクして再利用したりして、地球の資源を無駄遣いしないようにしたい。

また、以下のマークの付いた環境に配慮された公的な商品を買うようにしたい。

